

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	いじめ防止対策推進条例
担当課	指導課

① 市民参加の方法の選択について

<p>いじめは、保護者にとって関心の高いことであるため、パブリックコメントに加えて、保護者アンケートを選択したことは適切であったと評価する。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施は本部役員のみであったため、実際に本件に興味ある人から意見の吸い上げができていたのかどうか疑問である。 ・重要かつ市民の関心も高い案件であると思われるが、パブリックコメントが1件というのは、安易に意見を述べるには重たい複雑なテーマではなからうか。そのため、専門家等による審議会方式は適切と判断する。また、本案件についての当市の現状認識、考え方を問題提起するための意見交換会（説明会）も必要と思われる。 ・大変重要なテーマであり、出来るだけ分野の異なる多くの意見を集約することが大切であるとする。この意味で、パブリックコメント、アンケートは適切と考えるが、この事案が家庭、地域、その他の関係機関との連携が大切であることを考えれば、アンケートの対象は、保護者のみならず、地域（自治会等）、その他関係機関も含めるべきではないか。
--

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

<p>パブリックコメントの周知告知が、受付開始日であった。開催日告知から十分な募集期間を確保されたい。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの回答期間が10日間程度で充分であったのであろうか疑問が残る。 ・アンケートの実施結果を受けてのパブリックコメントを実施したほうが、意見は出しやすかったのではないか。
--

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

<p>パブリックコメントの件数が1件であったということは、情報提供に工夫の余地があったのではないか。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは本部役員のみで、その後のパブリックコメント実施の告知を保護者には行わなかったとのことであるが、行政がから何か積極的にアピールしなければ、本件の特質上意見を集めることは難しいと考える。 ・本件は地域特性よりは日本の社会全般の問題であるため、流山市におけるいじめの実態、近隣の市の実態や取組などを情報提供する必要があると思われる。 ・人権週間等を利用して、いじめ防止対策推進に取り組んでいることなど、全保護者への広報活動を行ってパブリックコメントの期間案内をしてもよかったのではないか。 ・「いじめ」は子育て世代だけでなくとどまらず、市民全対象、全地域での見守り情報提供で防いでいく内容である。そのため、学校だけを対象にするのではなく、各自治体や全ての年代を対象に周知とアンケートを行うことも検討されたい。

④ 改善点について

<p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが187件も回収されているのに、条例案を修正しなかったとのことであるが、本当に地域の実情にあった流山市独自の条例になっているのか疑問を感じる。 ・パブリックコメントの告知について、もっと学校や保護者にアピールするべきではないか。 ・重要かつ市民の関心も高い案件であると思われるが、パブリックコメントが1件というのは、安易に意見を述べるには重たい複雑なテーマではなからうか。そのため、専門家等による審議会方式は適切と判断する。また、本案件についての当市の現状認識、考え方を問題提起するための意見交換会（説明会）も必要と思われる。 ・今後意見交換会や講習会などの開催を予定する場合は、子育てをしながら働いている市民の為に土・日曜日以外や夜間にも受講できる環境（託児サービス付）を検討されたい。 ・養護教諭や教育相談係り等いじめの近くにいる先生方の意見を聞く機会があっても良かったのではないか。 ・アンケート回答を得るための標本数を増やすべきだった。
--

⑤ 当該事業の評価について

A	B	C	D
---	---	---	---